

授業科目 韓国語によるコミュニケーション (自由科目)

【担当教員名】 尹 恵 暎	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	-	時間数	30

<概要>

前期に習った文法や表現を繰り返し練習し、新たな表現を身に付ける。またとっさの時必要とされる会話の表現を映像を見ながら覚え、韓国語によるコミュニケーションができるように練習を重ねる。さらにドラマや映画、アニメ、歌など韓国の文化についての映像を見て、韓国文化の理解や映像の中で実際使われている表現を練習し身に付ける。

<学習目標>

- 1 複雑な文章が理解できる。
- 2 簡単な日常会話ができる。
- 3 韓国の文化がよりよく理解できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	第1課 初対面のあいさつ	とっさのハングル	1, 2
2	第2課 訪問	とっさのハングル	3, 4
3	第3課 時計売り場で	とっさのハングル	5, 6
4	ビデオ鑑賞	とっさのハングル	7, 8
5	第4課 予定	とっさのハングル	9, 10
6	第5課 問い合わせ	とっさのハングル	11, 12
7	第6課 コンビニはどこ?	とっさのハングル	13, 14
8	映画鑑賞		
9	第7課 家族	とっさのハングル	15, 16
10	第8課 プレゼント	とっさのハングル	17, 18
11	第9課 病気	とっさのハングル	19, 20
12	韓国の歌		
13	第10課 約束	用言の活用のまとめ	
14	「ハングル」能力検定試験の問題を解いてみる。		
15	総合的な会話の練習		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	韓国語レッスン 初級I	金東海・張銀英	スリーエー ネットワーク	2001年発行 2,400円
参考書	とっさのハングル (プリント配布)			
その他の資料	プリント配布			

【評価方法】 出席・レポート・定期試験などから総合的に評価する。	【履修上の留意点】
-------------------------------------	-----------